

会 議 録

会議名	平成 28 年度 第 1 回 丸亀市未来を築く地域戦略会議
開催日時	平成 28 年 7 月 21 日 (木) 13 : 30～15:30
開催場所	丸亀市役所 本館 2 階第 3 会議室
出席者	<p>出席した委員</p> <p>村山 卓 漆原 光徳 立山 雄一 田岡 洋司 中田 陽子 頼富 俊哉 明石 安哲 西川 真智子 高木 明美 奥田 徹 松井 信子 三井 喜代子</p> <p>欠席した委員</p> <p>日野 明世 高木 和代 横田 幸司 佐藤 国夫 松木 浩章 三谷 雄治 守家 敬子 伊藤 智也</p> <p>事務局</p> <p>市長公室長 山田 理恵子 (政策課) 課長 山地 幸夫 副課長 富士川 貴 担当長 志村 芳隆 主任 宇野 大志郎</p>
議 題	1. 平成 27 年度地方創生関連事業等について 2. 平成 28 年度予算の地方創生関連事業等について 3. その他
傍聴者	0 名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
山地政策課長	<p>ただ今より、平成 28 年度第 1 回丸亀市未来を築く地域戦略会議を開会いたします。はじめに、山田市長公室長よりご挨拶申し上げます。</p>
山田市長公室長	<p>丸亀市も昨年 10 月に、国が進める地方創生の流れを受け、人口ビジョン・総合戦略を策定いたしました。その際には委員の皆様から貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。この取組みを市民にも知ってもらうため、市の広報誌に 4 月号から特集を組んで掲載しています。今後、人口減少を食い止める施策を着実に講じていけるよう、計画の進行管理を行っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
山地政策課長	<p>それでは、委員のご推薦をいただいている団体の方で人事異動がありました関係から、交代された委員の皆様のご紹介をさせていただきたいと思います。</p> <p>< 新任委員紹介 ></p> <p>事務局職員にも異動がありましたので、ご紹介いたします。</p> <p>< 事務局職員紹介 ></p>

	<p>それでは、ここからの議事につきましては、丸亀市附属機関設置条例第7条の規定に基づき、村山会長にお願いいたします。</p>
村山会長	<p>それでは、会議を進めさせていただきます。なお、本日の会議でございますが、委員総数20名中10名のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定により、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>それでは、一つ目の議事、平成27年度の地方創生関連事業等について、事務局より説明をお願いします。</p>
富士川副課長	<p><資料1に基づき説明></p>
村山会長	<p>産業振興支援補助事業の中で、人気のあるメニューはありますか。</p>
富士川副課長	<p>担当課からは、社員の研修費などを補助する人材育成に係るものが、件数は一番多かったと聞いております。ホームページ作成などIT活用の利用者も多いようです。</p>
村山会長	<p>インターンシップに取り組む企業への補助事業も、他では見られない有効な制度だと思います。</p>
明石委員	<p>子育て応援育児用品貸出事業の6種類の用品は、どのようなものですか。</p>
富士川副課長	<p>ベビーベッド、チャイルドシート、ベビーカーのほか、ゲートサークル、ベビーバス、ベビーチェアの6点です。</p>
高木委員	<p>その事業の宣伝方法はどのようにされていますか。</p>
富士川副課長	<p>事業そのものは社会福祉協議会に委託しており、基本的にはホームページ、広報誌への掲載のほか、子育て関係者間でも情報共有されていると思います。</p>
村山会長	<p>貸出の申込みがあれば、全て対応できる状況でしょうか。</p>
富士川副課長	<p>貸出用品の数に限りはありますが、新品を用意するだけでなく、リユース品も受け入れています。貸出用品については増えていくと思われ、その範囲内での対応になるかと思えます。</p>
高木委員	<p>社会福祉協議会が運営しているということで、例えばひとり親家庭などの世帯に用品が行き渡りやすい状況でしょうか。</p>
富士川副課長	<p>社会福祉協議会は他の子育てサービスも行っていますので、制度の情報は伝わりやす</p>

	いと考えています。
明石委員	丸亀百貨店というウェブサイトがありますが、この百貨店で扱っている現物の商品をまとめて見られるような環境は、市内などにありますか。丸亀に来られた方は、どこで購入できるのでしょうか。
富士川副課長	丸亀百貨店の商品購入は、基本的にそれぞれの製造元へ照会していただくこととなります。首都圏で年に数回開催している物産展では、これらの商品を一堂に会して販売・PRしておりますし、丸亀城内の観光案内所で取り扱っている商品もあります。高速道路のサービスエリアなどにも置いてもらえるようPRしているところです。
村山会長	空港やサービスエリア、道の駅など、観光地よりも帰り道などで購入するケースが多いようです。 その他、ご意見はございますか。特にないようですので、議事の2、平成28年度予算の地方創生関連事業等について、事務局より説明をお願いします。
富士川副課長	<資料2に基づき説明> 合わせて資料3の方ですが、昨年の会議で説明しましたKPI（重要業績評価指標）について、現時点での達成状況をまとめましたので説明させていただきます。
政策課 宇野	<資料3に基づき説明>
高木委員	医療・介護関係者間でのクラウドシステムを導入しての効果・メリット、どこが主で情報を把握して、どのように支援に結び付けているのでしょうか。また、生活支援体制整備事業では、コーディネーターを介して事業を実施しているようですが、どのような方が携わっていますか。
富士川副課長	医療・介護連携につきましては、現在のところは医師会が中心となって進めています。クラウドシステムの登録内容は、行政機関と医療関係者、介護事業者などとなっております。これまで情報共有がなされていなかった状態から、仕組みとしては始まったばかりです。個人情報に関わる内容ですので、同意をいただいた患者さんでは、医師と介護事業者の情報共有が可能になり、成果が上がっているものと捉えております。
山田市長公室長	生活支援体制の整備につきましては、地域で困っている方と、事業を実施している方を結びつけるのがコーディネーターの役割ですが、どういうサービスがその人にとって地域で安心して暮らせることに結び付くのか考えることが重要です。市の地域包括支援センターの方で事業を立ち上げ、社会福祉協議会にお願いし、職員の研修や人材育成を行っているところです。

高木委員	不登校児童生徒の割合が上がっています。その背景などわかることはございますか。
政策課 宇野	主には、いじめや問題行動といった要因が多い傾向ですが、上昇した理由の分析はまだできておりませんので、改めて報告させていただきます。
明石委員	事業予算全体に記載している金額と、表の合計額が合わないのはなぜですか。
富士川副課長	例えば、「自然増をめざす」の項目の事業予算全体の中には、自治体として基礎的に取り組んでいる児童手当や保育所運営費も含んでおり、表に掲げる事業は、その中でも重点的に取り組んでいくものを示しています。
明石委員	「社会増をめざす」項目の事業費全体、また表に示されている額は他に比べて少ないようです。
富士川副課長	子育て支援関連の「自然増をめざす」、社会保障費が含まれる「安心を高める」項目は予算として膨らむ傾向にあります。本表は、予算編成に関連しての資料ですが、例えば、「魅力を高める」項目の定住促進賃貸住宅家賃補助金や離島移住促進モデル事業などは、本来であれば「社会増をめざす」項目として考えるべきとも思います。「魅力を高める」と「社会増を目指す」事業は、どうしても重なる部分もあるかと思えます。 「社会増をめざす」取組みでは、仕事づくりを重要視していますが、企業誘致に投資して雇用を生むというよりも、リーディングプロジェクトとして掲げる社会人大学院の創設のように、人材づくりに視点を置いた取組みを考えていますので、ボリュームとしては物足りない部分もあろうかと思えます。
明石委員	また、K P I の市内観光入込客数、コミュニティまちづくり計画策定数は、昨年度で既に目標を達成していますが、見直しはしないのでしょうか。
政策課 宇野	観光客数については、毎年 270 万人を目指してやっていくということで、昨年度は達成できましたが、なかなか難しい数字であり、このままでいいかと思えます。
富士川副課長	まちづくり計画については、新たなK P I を考えていく必要があります。
村山会長	平成 27 年は追風があっただけクリアできたのでしょうが、この傾向が続くようであれば見直しを図るべきだと思います。
頼富委員	同じくK P I に関して、昨年の会議に関わっていないので質問ですが、農業生産法人数と工業製造品の年間出荷額は、既に目標を達成していますが、そもそも目標値はどのように設定したのでしょうか。一年で成果が出ていますが、それに見合う手立ては取っていないと思うのですが。

富士川副課長	<p>27年度の施策については、総合戦略が年度途中からスタートしたということもあり、総合戦略を推進する施策がダイレクトに奏攻して、数字が上がったという分析がそのままできるかといえは疑問です。農業生産法人数などは、国の方でも推進しているということで、別の要素があつての数値達成という点もあると思います。総合戦略を推進しながら、K P Iの目標値や施策は見直して修正するのが前提というように国からも示されています。達成されたものについては、分析を加えて、目標を設定し直す必要があります。昨年度の数値は、一定の目安として捉えていただければと思います。</p>
頼富委員	<p>例えば、工業製造品の年間出荷額は2,850億円に修正していますが、何かに基づいて設定しているのでしょうか。</p>
政策課 宇野	<p>目標値については、市の総合計画で定めている数値に合わせています。総合計画の進行管理は毎年行っており、その中で昨年度の実績をもとに担当課が見直した数値と同じものになります。</p>
頼富委員	<p>中心市街地の空き店舗・空きオフィス等活用促進事業ですが、もともと空き店舗・オフィスはいくつありますか。</p>
政策課 宇野	<p>資料を持ち合わせていませんので、改めて報告させていただきます。</p>
三井委員	<p>K P Iのスポーツ合宿実施日数ですが、5年で割ると年間30日という目標に対して、昨年度の実績は46日となっています。昨年度は特別な理由があるのかもしれませんが、修正はかけないのでしょうか。</p> <p>資料2の「自然増をめざす」項目で、保育所の耐震化や小中学校の建設費がありますが、この事業は「安心を高める」項目になるのではないかと思います。また、学校ではハトの被害がひどく、衛生面の問題があるようですので、そうした対応にも予算を配分していただければ、安心が高まると感じています。</p>
政策課 宇野	<p>スポーツ合宿日数の数値は、観光協会の助成金制度の利用実績になりますが、その制度が昨年度から始まり、当初想定していた年間30日という数値を上回っていますので、今後の状況を見ながら修正していく必要があると考えています。</p>
富士川副課長	<p>保育所等の整備につきましては、子育て環境の充実により自然増を目指していく方向性で考えております。ハト被害につきましては、安心できる教育環境の充実を図るために、市の教育委員会や総合教育会議の場で様々な協議がされておりますので、現場の声を反映できるような予算編成につなげられればと思います。</p>
村山会長	<p>スポーツ合宿日数のK P Iについては、昨年度の実績をもとに割り戻すと、これからの年間目標値が下がりますので、早めに見直すべきだと思います。</p>

奥田委員	平成 28 年度の重点的施策と総合戦略となっていますが、どうしても総花的と言わざるを得ません。この項目の中でも、優先順位はあろうかと思えます。もう少し思い切った丸亀市らしい取組みはできないでしょうか。例えば、まんのう町ですと、定住促進を目的として、住宅取得者に最大で 150 万円まで補助する制度があるようです。市民に最前線で接しているコミュニティが、市民の細かな要望を吸い上げ、施策にマッチングさせていければ理想的だと思います。
村山会長	コミュニティを核にした取組みは、総合戦略の中でも「コミュニティの進化」という項目がありますが、まちづくり計画を策定し、利用者数を増やすだけでよいかという点もあります。その他に講じられる施策はないか、総合戦略の見直しを図る中で、考えていく必要があると思えます。
明石委員	丸亀城復元アプリケーションは相当の容量があり、ダウンロードするには Wi-Fi 環境が必要と思われませんが、庁舎内や丸亀城にはありますか。
富士川副課長	丸亀城には、この事業に合わせて Wi-Fi 環境を整備すると聞いております。庁舎内では、本庁舎の玄関ロビーで利用が可能です。
村山会長	この事業は中讃定住自立圏として取り組んでおり、私も琴平版のアプリをダウンロードしましたが、丸亀版は別にダウンロードする必要があるようです。
奥田委員	来年以降は、新庁舎の建設費が膨らんで、総合戦略にも影響するのではないのでしょうか。
山地政策課長	来年は設計の段階であり、建設の本格着手は、平成 31 年度頃になろうかと思えます。
村山会長	新庁舎建設の費用・実績を、K P I 等に反映させていくべきかどうかは、今後精査が必要と思えます。 その他、ご意見等はございますか。
富士川副課長	次回の会議は、今年度の事業実績がある程度出揃い、なおかつ来年度予算の方向性をお示しできる段階、年末から年始頃で開催したいと考えております。
村山会長	それでは、本日の会議はこれで終了いたします。

(会議終了)